

令和2年7月22日（水）

「水槽清掃＆サクラマスの雌雄調査をおこないました」

6月2日（火）、大槌町赤浜地区にある東京大学大気海洋研究所国際沿岸海洋研究センター（以下、東大海洋研センター）において、水槽清掃とサクラマスの雌雄調査をおこないました。本活動は東大海洋研センターの野畑重教先生にご指導いただき、3年生男子3名が参加しました。

前半は、屋外飼育用の巨大な水槽を清掃しました。水槽の中にはカレイやエイの仲間など大槌湾で水揚げされた様々な魚が泳いでおり、生徒たちは早くも興奮を隠せない様子でした。

後半は、室内に入りサクラマスの雌雄調査をおこないました。サクラマスは海に出るタイプのヤマメであり、体色が銀化するのが特徴的です。今回の調査ではサクラマスの生殖器を観察し、海に出るのはオスとメスのどちらが多いのかを調べました。食用目的とは違った視点で魚を見るのは新鮮で、生徒たちも地元の魚にますます親しみが湧いたようでした。

